

平成20年度(2008年度)第3回 池田市図書館協議会会議録要録

<日 時> 平成20年8月31日(日) 10時～12時

<場 所> 池田市立図書館 2階会議室

<出席者> (委 員) たつみ会長、丸山副会長、雨堤委員、富阪委員、櫛野委員、
松本委員、村上委員、吉永委員、

(事務局) 長森図書館長、上保石橋プラザ館長代理、他図書館員5名

<傍 聴> なし

<審議案件> 「池田市における図書館のあり方」について
・答申案の検討 (最終)
その他
・答申PRのための「シンポジウム」について
・今後の日程
・(有志による)図書館まつりカフェについて

<資 料> ・出席者名簿
・池田市図書館協議会答申案：
『翔べ「丘の上の図書館」 - 池田市立図書館への提言 - 』
(添付 資料集)
・『10月1日号市広報誌図書館特集 記事粗原稿』

事務局：おはようございます。本日はお忙しいところお集まりくださりましてありがとうございます。第14期も本日が最終日となりました。第1回から約2年が経ちましたが、今回こうしたりっぱな答申を作って頂きました。たつみ会長をはじめとします各委員の皆様のお力の賜物だと思います。どうもありがとうございます。では、会長の方にお任せいたしますので宜しくお願い致します。

会長：では、議題に沿って始めたいと思います。お手元に答申案が配られていると思いますが、皆様のご苦勞の上に来上がりました。どうもありがとうございます。今回は最終の打合わせになりますので、何かございましたら、お願いします。

委員：7月の会合で修正した点が3点ほどあります。ひとつは提言の基本的な考え方を先ず提言の前にもってくること、2点目に、提言事項について、提言全体の構図を表すために概念図を加えたこと、3点目に、「子ども読書推進活動」との関係を含めてそれと連動する形で、図書館の役割に触れました。あとは、設備の古さについて、先日の水漏れ等の実際の具体例を加えたことや、表現を訂正した点などです。

会長：今の説明に関して疑問点、意見があればお願いします。

委員：基本的にはこれで結構です。ただ、社会教育の領域の点についてですが、提言事項3の〔学校や地域と連携して、子どもたちが読書を楽しみ、資料を活用した「調べ学習」に取り組むことなどを通して、子どもたちの豊かな「学び」を応援する図書館〕ですが、子どもの学びを図書館としてどのように支援していくかということについて、つまり学校と図書館との連携ですが、今後これを具体化していく上での大きな課題だと思います。

委員：最初は「生きる力」という表現をしていましたが、非常に不透明であるということで、今回「学ぶ力を支援する」という表現に変えました。図書館が主体となって指導するのではなく、飽くまでも学校主体ですが、図書館はそれをバックアップするということが分かるように変更しました。

委員：ここで述べられていた「生きる力」とは、国の施策に則った意味合いではなく、文字通り子どもの豊かに生きる力ということですが、これが外に出た場合言葉として区別が難しいので、慎重に使った方がよいということで意見させていただいた訳です。いろいろご配慮いただきありがとうございます。

事務局：先日教育委員会にこの答申書に関する報告をしております。このような立派な答申書、しかも内容の検討も十分にいただいていることに驚いております。この提言を基に、教育委員会として、実行計画を作り総合計画に反映されるよう提言していきたいと思っております。

委員：「子ども読書推進計画」についてですが、どの程度進んでいるのですか。

委員：国からの交付金の問題にしても、実際には学校現場には下りてきていません。

事務局：「子ども読書推進計画」につきましては指導課を所管として、図書館が補助する形で作成しましたが、実際にはそれ以降実施計画は進んでいない状況です。先頃文部科学省で第2次計画も閣議決定されていますし、今後実施計画作り、計画に基づいて事業を起こすための予算取りなど、図書館が主体になって進めていかなくてはならないと考えています。

委員：実際には交付金の使い道は市に一任されています。それだからこそ、総合計画を作るのが重要なことなんですね。たとえば10年のスパンの中でどんな事業を何年計画で実施していくか、事業を行うのにどれだけの予算が必要かということを明らかにするために必要なことなんです。市全体の中で考えていかなくてはならないことです。ですから、この答申書を基にして、館長に追求して頂きたいですね。

会長：この答申書がひとつのきっかけになって、池田にひとつの矢をつきつけたことになればいいですね。他に何かございませんか。では、答申書に関してはこれで終わります。皆様、どうもありがとうございました。では、次に答申のPRのためのシンポジウムについて、館長から説明をお願いします。

事務局：お手元に広報の原稿をお配りしていますが、答申のPRのためのシンポジウムとして、前鳥取県立図書館長の齋藤明彦氏をお迎えして「こうして日本一(?)の図書館にした!」という話をし

ていただきます。第2部として、たつみ会長と市長を交えた鼎談をしていただき、会場も交えての公開座談をし、質問も受けながら進めたいと思います。池田市の図書館をいかにしてもっと楽しいところにするか、ということを考えていきたいと思います。

委員：この答申書は議員や教育委員会の関係者だけでなく、一般市民に配らないのですか？

事務局：答申書の提言の基本的な考え方と提言内容の全体概念図を1枚もので用意し、それ以上のことを知りたい人には提言書を用意しておいて、お見せすることもできます。HPでもダウンロードできるようにしています。

会長：それでは今後の日程についてお願いします。

事務局：皆さんの任期は2年となっております。次の15期が始まるまでです。広報の1日号に委員募集の記事を載せます。10月8日から2週間の募集期間を設けます。選考委員にはたつみ会長と松本委員にお願いしております。教育部長と私も入りまして、総合的判断のもと、10月下旬に決定し、11月の下旬に15期を発足させることとなります。

会長：何か質問はございませんか。なければ、図書館まつりのカフェの件ですが、

委員：有志でまた集まって細かい点についての段取りなど、計画をねりましょう。

会長：では、会合の日時については後日連絡いたします。本日はどうもありがとうございました。

事務局：どうもありがとうございました。14期の協議会はいいいメンバーに恵まれたと思います。年齢的にも20代から60代まで、男女比についてもバランスがとれておりますし、職業につきましてもいろいろな分野から参加していただき、何もかもがよい方向に向いたと思います。こちらとしましてもいろいろ勉強することが多かったように思います。大変な時期ですが、これを基に図書館及び教育委員会として研究し、次の15期協議会につなげていきたいと思います。今まで、ありがとうございました。